

工事写真報告書

工事番号 平成 27 年度

工事名 Y様邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 小倉北区 篠崎

工 期 着 手 平 成 年 月 日

竣 工 平 成 年 月 日

工事施工者



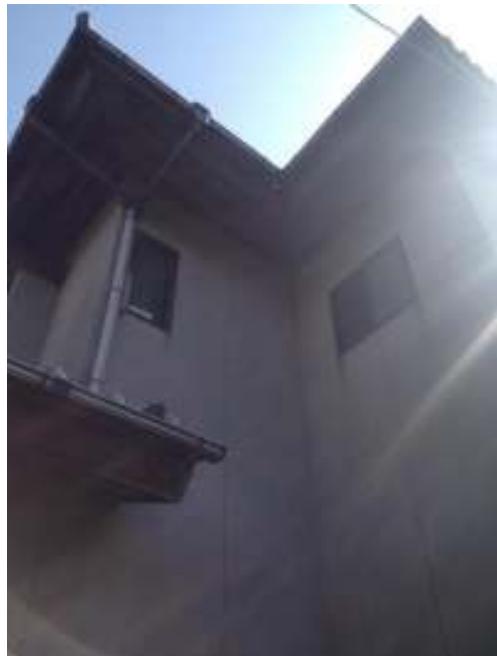
外觀



外觀



外觀



外觀



外觀



車庫 外觀



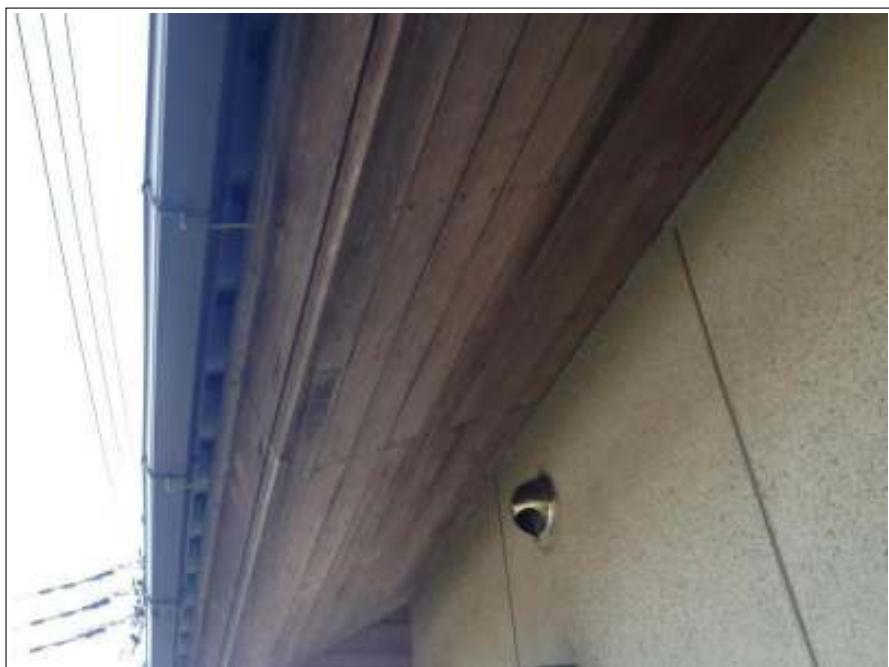
玄関 木部

経年劣化しています。劣化が進むと腐食や害虫の被害に繋がってきますので、この部分は防腐剤の入った、木目を活かす塗装をしていきます。



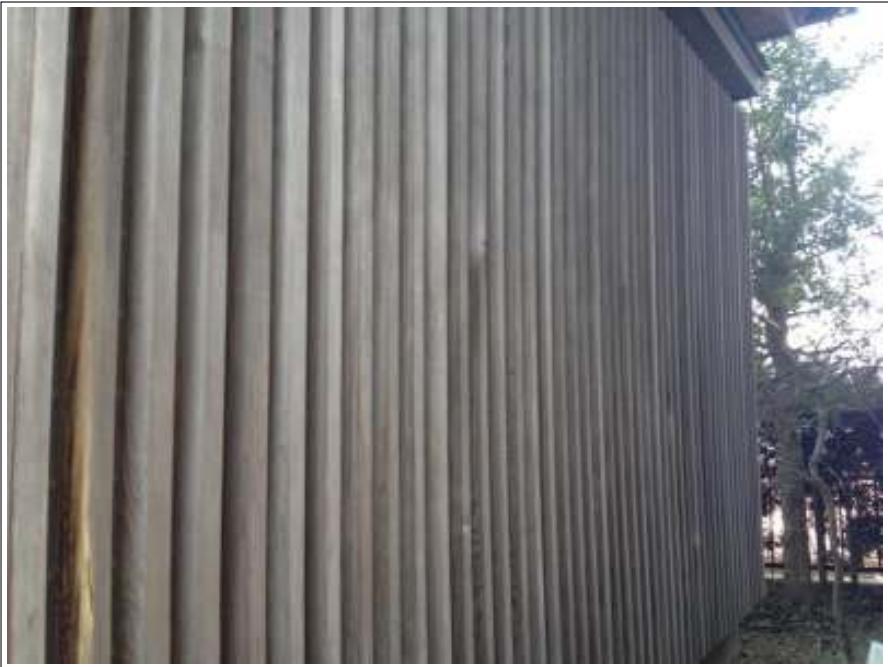
破風板

同上



軒

同上



木格子

同上



玄関 柱

木の劣化や旧塗膜の剥離等が見られます。

ペーパー等でケレン作業をおこない、塗装をしていきます。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。

劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



戸袋

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



戸袋

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



雨戸

同上



雨戸

同上



庇

同上



小庇

同上



換気フード

同上



外壁 現状

塗装表面の劣化が見られます。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガスが侵入してき、外壁材の痛みや躯体の劣化につながりますので、塗装表面の劣化が進む前に早めの塗装をお勧めします。



外構坪 外観

一部補修後が見られます。

この部分は施工した際に仕上りの違いが見られますので、ローラーでの肌合わせをおこない、塗装をしていきます。



外壁 現状

同上

外壁 現状

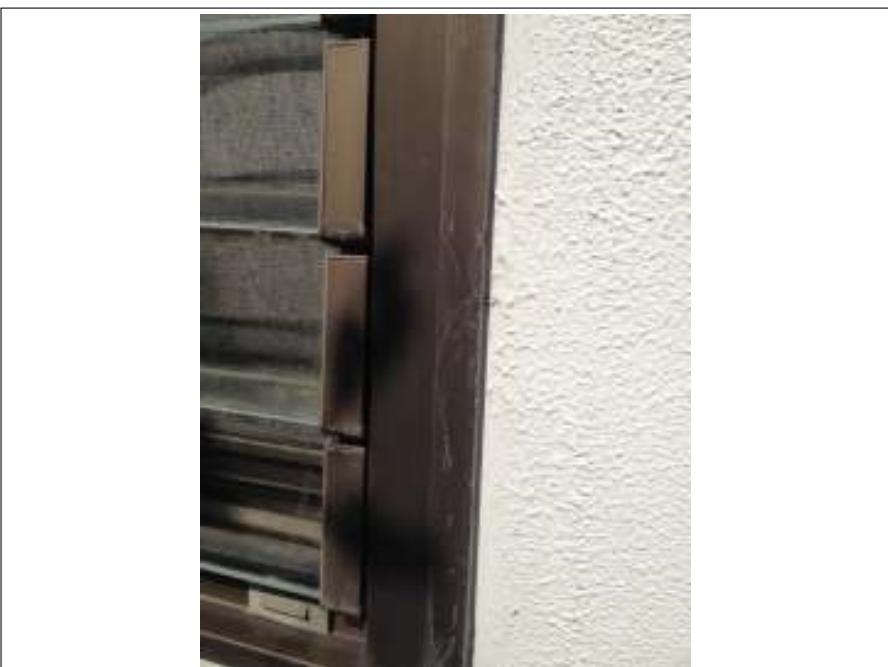
同上

外壁 サッシ廻り部

前回の施工時のサッシの傷が見られます。

ライン出しの際に、サッシ廻りに傷が入っているかと思います。

サッシ廻りは通常の部分と違い、慎重に施工する必要があります。





外壁 目地部

一部塗装をおこなっている部分がありますが、施工時に刷毛取りをおこなっていない為か、目地部の施工仕上り斑が見られます。

この部分はカッターで除去、もしくはシーリング埋めにより、施工仕上りの均一化を図ります。



外構壇 クラック部

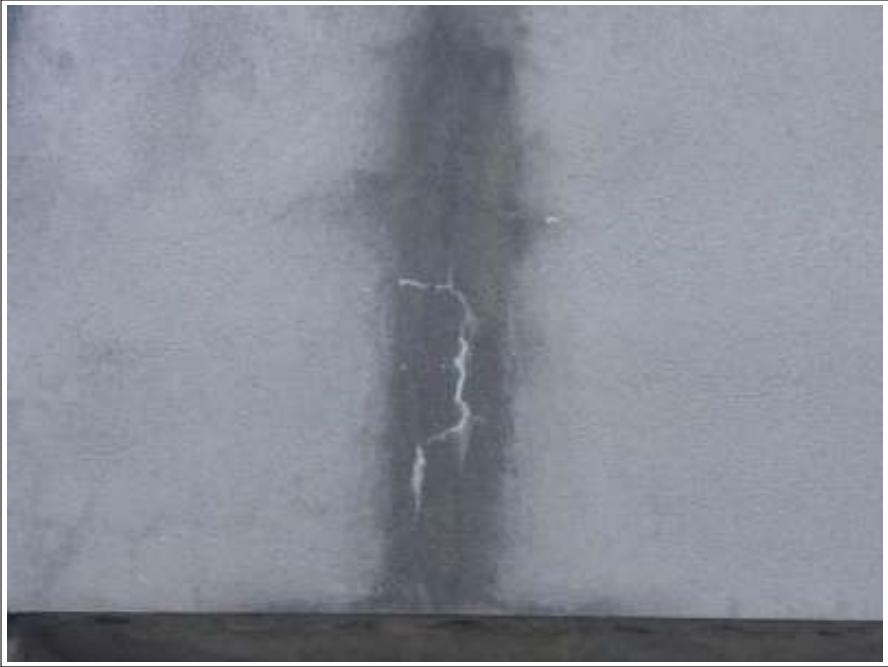
アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビに入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



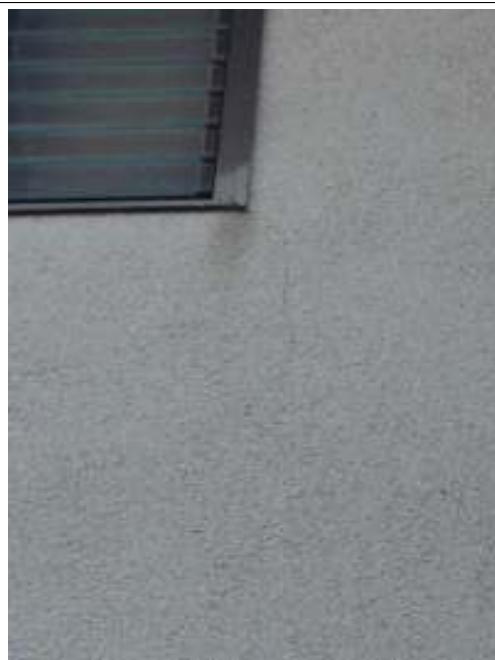
外構壇 クラック部

同上



クラック部

同上



外壁 クラック部

数ヶ所見られました。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガスが侵入してき、外壁材の痛みや躯体の劣化につながりますので、劣化している部分はシーリング材で補修をおこない塗装をしていきます。



外壁 クラック部

0.3 mm以上のクラックは塗料での補修では十分ではありませんので、シーリング材等で補修をおこない、塗装をしていきます。



外壁 クラック部

同上

外壁 クラック部

同上

外壁 クラック部

同上





外壁 カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にいくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



外壁 カビ発生部

対処方法

いくら高压洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。



外構塀 カビ発生部

同上



外構塀 カビ発生部

同上



外構塀 カビ発生部

同上

作成者：戸高 勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

